

日本文化政策学会  
第9回年次研究大会  
開催要綱

2016年3月5日（土）・6日（日）

会場：高崎経済大学 6号館・7号館

研究大会テーマ

「人文社会系知と芸術文化の自律性」

主催 日本文化政策学会

# 開催概要

日時 2016年3月5日（土）・6日（日）  
会場 高崎経済大学（群馬県高崎市上並榎町1300）  
参加費 事前振込の場合、会員1千円・非会員2千円・学生1千円。当日申込は会員2千円、非会員4千円、学生2千円。企画フォーラム・特別公開シンポジウム・ポスターセッションのみの参加は無料です。

## 大会スケジュール

### 3月5日（土）

10:00～13:30 受付  
10:30～12:30 企画フォーラム  
13:30～15:50 分科会Ⅰ-A～D  
16:00～17:30 特別公開シンポジウム1「隣接領域からの文化政策研究への接近」  
18:30～20:30 懇親会

### 3月6日（日）

8:30～9:15 特別講座「投稿論文の書き方」  
9:00～10:00 受付  
9:15～11:35 分科会Ⅱ-A～D  
11:35～12:35 若手ポスターセッション（コアタイム）  
11:35～12:25 理事会（理事のみ）  
12:35～13:05 総会  
13:15～14:45 特別公開シンポジウム2「人文社会系知と芸術文化の自律性」  
14:55～17:15 分科会Ⅲ-A～D

### 大会に関するお問い合わせ先

大会プログラム委員会事務局

〒370-0801 高崎市上並榎町1300 高崎経済大学地域政策学部 友岡研究室

E-mail: jacpr.takasaki@gmail.com 電話: 090-4431-3812（緊急連絡先）

### 大会以外のお問い合わせ先

日本文化政策学会事務局 URL: <http://www.jacpr.jp>

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院人文社会系研究科 文化資源学研究室内

E-mail: jacpr\_office2013@yahoo.co.jp 電話: 03-5841-1251

# プログラム

3月5日(土)

10:00~13:30	受付	6号館1階
10:30~12:30	企画フォーラム	6号館2階

## 企画1 行政改革による自治体文化政策の変容

— 文化のInstrumentalismによって「市民文化」は消えたのか — 6号館621教室

企画代表者 鬼木和浩 (横浜市役所文化観光局文化振興課主任調査員)  
伊藤裕夫 (日本文化政策学会会長)

## 企画2 日本型アートプロジェクトを巡る国外の視点

— マレーシア、インドネシア、米国、英国の事例から — 6号館623教室

企画代表者 谷地田未緒 (国際交流基金クアラルンプール日本文化センター)  
熊倉純子 (東京藝術大学)

13:30~15:50	分科会 I	6号館2・3階
-------------	-------	---------

分科会 I - A 「文化政策史」 座長：土屋絢子 6号館621教室

発表者 予定討論者  
①高久 彩 徳永 高志 (NPO法人クオリティアンドコミュニケーションオブアーツ代表)  
博物館が創設された場と「招魂」の思想：明治22(1889)年の「東京開府三百年祭」を通して  
②藤原 恵洋 (九州大学大学院芸術工学研究院教授) 武居 利史 (府中市美術館学芸員・教育普及担当主査)  
小池新二『汎美計画』における戦前期文化政策の視座と戦後の文化政策実践  
③松本 郁子 (東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学博士課程) 新藤 浩伸 (東京大学)  
宣教の転換と1960年代の文化的背景：カナダ合同教会「世界宣教委員会報告」をもとに

分科会 I - B 「アートプロジェクト」 座長：吉澤弥生 (共立女子大学准教授) 6号館622教室

発表者 予定討論者  
①吉田 隆之 (大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授) 山口 祥平  
水と土の芸術祭(新潟市)の地域づくりへの影響：アプロジェクト的要素の検証  
②山口 祥平 (首都大学東京システムデザイン学部助教) 吉田 隆之  
地域活性化とアートプロジェクトの親和性に関する考察：  
大地の芸術祭2015十日町中心市街地プロジェクトを事例として

③山本 浩貴（ロンドン芸術大学博士課程）

櫻井 駿介

トリックスター、あるいはヒストリオグラファーとしてのアーティスト：

2000年以降のソーシャリー・エンゲージド・アートプロジェクトに関する一考察

④櫻井 駿介（東京藝術大学熊倉純子研究室博士後期課程1年）

山本 浩貴

現代日本におけるアート・スペースの動向に関する研究：〈オルタナティブ・スペース〉の再解釈

**分科会 I - C 「多文化共生と社会包摂 A」 座長：川崎賢一（駒澤大学） 6号館623教室**

発表者

予定討論者

①川井田 祥子（大阪市立大学都市研究プラザ特任講師） 長津 結一郎（慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所研究員）

障害のあるアーティストへの支援政策に関する一考察：英国におけるUNLIMITEDの調査から

②マルコス・ペルシチ（東京大学大学院文化経営学研究分野） 花田 勝暁（音楽情報誌『月刊ラティーナ』編集長）

ブラジルにおける文化多様性政策とその課題

**分科会 I - D 「文化施設と法制度」 座長：林健次郎（愛知県芸術劇場） 6号館636教室**

発表者

予定討論者

①原 久子（大阪電気通信大学総合情報学部教授）

泰井 良（静岡県立美術館上席学芸員）

これからの日本の博物館、美術館の役割について：博物館、美術館の国際動向の考察を中心として

②古賀 昌美（九州大学大学院芸術工学府修士課程2年）

泰井 良（静岡県立美術館上席学芸員）

伴走者としての美術館ボランティア—福岡の公立美術館を事例に

③赤松 洋子

伊藤 裕夫（本学会会長）

劇場、音楽堂等の学校へのアウトリーチのためのコーディネート：劇場法の示す地方公共団体文化政策として

④岩井 千華（九州大学大学院芸術工学府博士課程）

伊藤 裕夫（本学会会長）

公共施設としての図書館の在り方と指定管理についての一考察

16:00～17:30 特別公開シンポジウム 1

7号館3階731教室

テーマ「隣接領域からの文化政策研究への接近」

登壇者：

学会員代表質問者：

山田 奨治（国際日本文化研究センター研究部教授）

小島 立

野呂田 純一（かながわ国際交流財団学術・文化交流グループ副主幹）

高久 彩

田村 公人（上智大学兼任講師）

藤井 慎太郎

司会・コーディネーター：友岡 邦之（高崎経済大学地域政策学部教授）

18:30～20:30 懇親会

会場：Gru（高崎市連雀町106 Tel. 027-395-4342）

参加費（会員・非会員とも）5,000円 学生3,000円

※ 懇親会への参加を御希望の方は、必ず大会参加申込手続きの際に、同時に参加をお申し込みください。

3月6日(日)

8:30～ 9:15 特別講座「投稿論文の書き方」

6号館2階621教室

主催：『文化政策研究』編集委員会

※ 本講座への参加を御希望の方は、必ず大会参加申込手続きの際に、同時に参加をお申し込みください。

9:00～10:00 受付

6号館1階

9:15～11:35 分科会Ⅱ

6号館2・3階

分科会Ⅱ－A「文化振興の基盤整備」 座長：戸館正史（一般財団法人地域創造） 6号館621教室

発表者 予定討論者

①佐藤 忠文（九州大学大学院芸術工学部博士後期課程） 直田 春夫（NPO政策研究所理事長）

自治体における文化情報資源の公開環境に関する考察

②大橋 加奈（静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科2年） 直田 春夫（NPO政策研究所理事長）

公立文化施設における「平成の合併」の影響：旧町村部に立地する文化施設の全国調査を通じて

③松本 桜子（静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター研究員） 藤野 一夫（神戸大学大学院国際文化学研究科）

劇場における文化芸術教育事業としての親子鑑賞機会の実態に関する研究：札幌市教育文化会館を事例に

④石川 緋名子（静岡文化芸術大学文化・芸術研究センター研究員） 藤野 一夫（神戸大学大学院国際文化学研究科）

我が国のアートマネジメント人材における能力開発の現状：

静岡文化芸術大学文化庁補助事業の受講者を対象にしたインタビュー調査の結果から

分科会Ⅱ－B「文化財・文化資源」 座長：井上敏（桃山学院大学）

6号館622教室

発表者 予定討論者

①土屋 正臣（群馬県藤岡市役所） 須田 英一（法政大学現代福祉学部兼任講師）

埋蔵文化財行政の社会教育的意義：野尻湖発掘を事例として

②本田 洋一（大阪市立大学大学院創造都市研究科客員研究員） 須田 英一（法政大学現代福祉学部兼任講師）

歴史的文化資源と地方創生：斑鳩町の取り組み

③大上 美来（静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科修士課程1年） 土屋 正臣（群馬県藤岡市役所）

歴史的町並み保全をめぐる横浜市保土ヶ谷区の試み：重層的ガバナンスの視点から

分科会Ⅱ－C「多文化共生と社会包摂B」 座長：長津結一郎（慶應義塾大学） 6号館623教室

発表者 予定討論者

①砂田 和道（くらしに音楽プロジェクト事務局長） 川井田 祥子（大阪市立大学都市研究プラザ特任講師）

わが国の文化事業における社会的課題対応型事業の課題：

日韓の公立文化施設における社会的弱者への事業に関する比較調査から

②楊 淳婷（東京藝術大学大学院音楽研究科） マルコス・ペルシチ（東京大学大学院文化経営学研究分野）

多文化社会における「地域で展開するアートプロジェクト」：岐阜県可児市を事例として

③國盛 麻衣佳（福岡女学院大学非常勤講師） 新藤 浩伸（東京大学）

産炭地の芸術文化環境形成に関する研究

分科会Ⅱ－D「文化伝達の手法」 座長：曾田修司（跡見学園女子大学） 6号館636教室

発表者 伊知地 裕子（ミュージズ・カンパニー代表） 予定討論者

① 苅谷 桃佳（静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科修士1年） 伊知地 裕子（ミュージズ・カンパニー代表）

地方圏の子どもたちに向けた芸術ワークショップの持続的な実施：

公立文化施設を拠点としたプログラムに着目して

② 石垣 尚志（東海大学文学部心理・社会学科講師） 伊知地 裕子（ミュージズ・カンパニー代表）

映画製作ワークショップについての調査報告：

北海道札幌市「子ども映画制作ワークショップ」経験者・保護者へのアンケート調査にもとづいて

③ 片山 明久（京都文教大学総合社会学部准教授） 小林 真理（東京大学）

コンテンツツーリストによる伝統的祭礼の活性化：埼玉県秩父市を事例に

④ 張 榮（九州大学大学院芸術工学府環境・遺産デザインコース） 小林 真理（東京大学）

韓国の芸術文化施設の展示空間デザインにおける物語創成手法の効果に関する研究

11:35～12:35	ポスターセッション コアタイム	6号館1階ラウンジ
11:35～12:25	理事会（理事のみ）	6号館1階612教室
12:35～13:05	総会	7号館3階731教室

13:15～14:45 特別公開シンポジウム2 7号館3階731教室

テーマ「人文社会系知と芸術文化の自律性」

登壇者：

島 蘭 進（東京大学大学院人文社会系研究科名誉教授・宗教学）

駒村 圭吾（慶應義塾大学法学部教授・憲法学）

司会・コーディネーター：小林真理（東京大学大学院人文社会系研究科准教授）

学会員代表質問者：

伊藤 裕夫

市村 作知雄

14:55～17:15 分科会Ⅲ 6号館2・3階

分科会Ⅲ－A「芸術支援と芸術団体運営」 座長：柴田英杞（滋賀県文化振興事業団）6号館621教室

発表者 比留間 雅人（日本大学非常勤講師） 予定討論者

① 片山 泰輔（静岡文化芸術大学文化政策学部教授） 比留間 雅人（日本大学非常勤講師）

石川緋名子、大橋加奈、宮治磨里

我が国における公的資金の分布と芸術文化団体経営

② 高島 知佐子（静岡文化芸術大学准教授） 比留間 雅人（日本大学非常勤講師）

石川緋名子、大橋加奈、宮治磨里

わが国の都道府県別芸術関連組織の経営実態

③ 山口 真由（東京大学大学院学際情報学府文化・人間情報学コース博士課程） 柴田英杞（滋賀県文化振興事業団）

公共劇場での演劇活動におけるニーズ対立への取り組み：津劇場軍の演劇シーン拡大過程の分析

④ 西田 紘子（九州大学大学院芸術工学研究院） 中尾 知彦（慶應義塾大学）

大草孝介（九州大学大学院芸術工学研究院）

日本のプロ・オーケストラのプログラミングに影響を及ぼす要因：統計分析を通して

分科会Ⅲ－B「都市と歴史」 座長：佐々木雅幸（同志社大学） 6号館622教室

- 発表者 予定討論者
- ①朝倉 由希（静岡文化芸術大学非常勤講師） 根本 敏行（静岡文化芸術大学）  
創造都市実現に向けた課題と展望：浜松における創造都市政策の検証を通して
- ②張 慶彬（九州大学大学院芸術工学府） 根本 敏行（静岡文化芸術大学）  
韓国における創造都市政策の課題と展望：芸術文化が支えた民主化過程と内発的まちづくりへの効果に着目して
- ③藤嶋 陽子（東京大学大学院学際情報学府） 伊藤 裕夫（本学会会長）  
京都服飾文化財団の展示・研究活動が日本の文化政策に占める位置と役割
- ④井原 麗奈（神戸女学院大学大学院文学研究科博士研究員） 小林 真理（東京大学）  
植民地期台湾の公会堂

分科会Ⅲ－C「国際交流・海外の文化政策」 座長：菅野幸子（国際交流基金） 6号館623教室

- 発表者 予定討論者
- ①谷地田 未緒（国際交流基金） 秋野 有紀（獨協大学）  
国際文化交流の今日的意義に関する考察：日本とマレーシアにおけるコンテンポラリーダンス、  
コミュニティ・アート、キュレーターワークショップの交流事例から
- ②松本 茂章（静岡文化芸術大学文化政策学部教授） 岡 真理子（青山学院大学）  
在仏日本人会による対外文化政策の現状と課題
- ③畑 まりあ（東京藝術大学大学院音楽研究科音楽文化学専攻） 岡 真理子（青山学院大学）  
フランスにおける市民発注型芸術プログラム《ヌーヴォー・コモディテール》：  
デモクラシーと「再配置」としての実践
- ④小林 瑠音（神戸大学大学院国際文化学研究科博士後期課程） 菅野 幸子（国際交流基金）  
英国コミュニティ・アート・ムーブメントとアーツカウンシルの政策方針：  
1970年代から1980年代ロンドン・イーストエンドの事例を中心に

分科会Ⅲ－D「アートプロジェクトと創造拠点」 座長：原久子（大阪電気通信大） 6号館636教室

- 発表者 予定討論者
- ①藤原 旅人（九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻博士課程） 金 嬪娜  
文化政策におけるアートボランティア・マネージメントの展望
- ②金 嬪娜（東京藝術大学大学院博士後期課程） 藤原 旅人  
自主活動の比較からみたアートプロジェクトにおけるボランティアの活動とその特徴
- ③金 泰勲（大阪市立大学大学院創造都市研究科） 馬 麗娜  
パブリックアートを通じた文化空間の形成について：韓国における文来創作村を中心に
- ④馬 麗娜（九州大学藤原研究室博士課程） 金 泰勲  
中国の「文化創意園區」における大学の役割について：  
「香港賽馬會創意芸術センター」および「蓬蒿小劇場」の事例を通して

## ■ポスターセッション 発表一覧

会場：6号館1階ラウンジ

小間番号	申込者氏名	所属	発表タイトル
1	陳 怡如	神戸大学大学院国際文化学研究科 博士後期課程	日本統治時代台湾における民衆の余暇・娯楽活動 —聞き取り調査からの考察—
2	南田 明美	神戸大学大学院国際文化学研究科 博士課程後期課程	シンガポールの芸術界における「市民社会」と「公民社会」の相克とネイション形成
3	松永 愛子	早稲田大学大学院文学研究科 演劇映像学コース	東日本大震災からの復興における舞台芸術の役割： ARC>T(Art Revival Connection TOHOKU)の活動を通して
4	樽本 光代	鳥取大学大学院地域学研究科 地域創造専攻修士1年	なぜ地域で映画を上映するのか？ — 市民による自主的な映画上映活動の持つ意義 —
5	河本 珠奈	鳥取大学大学院地域学研究科 地域創造専攻修士2年	表現活動を用いた、個々の「生」を最大限全うするための 試み—岡山県都窪郡の生活介護事業所「ぬか」を事例に—
6	森田 愛海	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源 学研究専攻文化経営学専門分野修士1年	文化経営における資源の蓄積と活用（1）
7	金 愉奈	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源 学研究専攻文化経営学専門分野修士1年	文化経営における資源の蓄積と活用（2）
8	木村 彩乃	静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科 1年	復元された堀をめぐる現状と課題 —官民協働による活用を目指して—

※小間番号は受付順です。

## ■研究発表者へのお願い

- (1) 会場でのコピーサービスはいたしかねます。報告される方は、最低 **30部**以上のレジュメの事前準備をお願いします。
- (2) 報告者は、報告される会場に分科会・コアタイム・フォーラム開始の **10分前**に会場にお集まりください。座長・報告者による簡単な打ち合わせ等が行われる場合があります。
- (3) 機器を用意される方は特に次の点にご注意ください。
  - ① 開催校では機器の動作確認等含め、できるかぎり報告者への協力をいたしますが、機器操作等については報告される方の自己責任にてお願い致します。特に、機器を使われる方はコンピュータ関連の接続や、データ形式等にご注意ください。万が一、機器が作動しない場合に備えて、印字原稿やスライド印刷資料をご用意頂く等の方策を取っていただくことをお勧めします。
  - ② 機器を利用される報告者は、分科会・コアタイム・フォーラム開始の **20分前**に会場にお集まりください。各自、機器使用の準備、確認などをお願いします。
- (4) その他、会場ごとの注意点は以下のとおりです。

### [分科会に関する使用機材と、集合時間に関するご注意]

※分科会場には、①PC（OS：Windows 7、Microsoft Power point インストール済）、②据付データ・プロジェクタ、③RGB ケーブル（ミニ D-Sub 15 ピン・コネクタ）を用意してあります（HDMI 不可）。その他の発表に必要な機材やコネクタ等は、各自でご用意ください。

### [若手ポスターセッションに関する使用機材と、集合時間に関するご注意]

※発表方法 ①コアタイムは、必ずご自身のポスターの前で発表して下さい。  
（コアタイムは、3月7日（日）11:35～12:35です）



②音の出る発表資料は不可となります。

※ポスター仕様 ①ポスターサイズは、B1 縦一枚内に収まるもの。

②1m離れても判読できる程度の文字の大きさ。

③各人が印刷の上、当日ご持参下さい。

## ■昼食について

春季休業期間中のため、3月5日・6日ともに学内食堂および購買部が営業していません。また大学周辺には飲食店がわずかしかございません。大会参加申込の際に弁当のご注文も受け付けますので、そちらのご利用を強くお勧めいたします。もしくは高崎駅周辺でご昼食を事前調達の上、大会会場にお越しください。

昼食場所としては、6号館の各教室を適宜ご利用ください(5日に限っては7号館1階の食堂スペースもご利用できます)。また大学正門を出て左手すぐに、学生達が民家を改修して自主運営をしている「**0号館**」というスペースがございます。大会開催期間中はこちらも昼食場所としてご利用いただける予定です。

なお、大学正門を出て左手に徒歩5分ほどのところにコンビニエンス・ストア「セブンイレブン」が、右手に徒歩5分ほどのところに洋食レストラン「シャクナゲ」がございます。



<https://www.google.co.jp/maps/@36.3458671,138.9784119,17.08z?hl=ja>

## ■ 宿泊について

本大会の開催にあたり、高崎駅前のホテル「高崎アーバンホテル」様（<http://www.takasaki-urbanhotel.com/>）からご協力をいただいております。同ホテルは高崎駅西口とペデストリアンデッキで直結しており、高崎経済大学にアクセスするのに最も利便性の高いホテルです。さらに二日目（3月6日）朝は、ホテルのエントランス前より大学行送迎バスを出す予定となっております（後述）。

3月4日（金）および3月5日（土）の二日間については、それぞれ45室分を確保しております。予約に関する詳細は以下の通りです。

1. 直接ホテルに電話をかけ（027-322-0111）、予約をしてください。その際必ず、「日本文化政策学会大会参加者」である旨を教えてください。
2. 部屋はシングル／ツイン、禁煙／喫煙のタイプが45室分用意されており、先着順で受け付けます。受付締切は2月19日（金）です。
3. 宿泊料金は、一泊朝食込みで6千円です（通常価格6,500円）。

その他、高崎駅周辺に複数のホテルがございますので各自でご予約をお願いします。

## ■ 懇親会について

- ・ 日時 2016年3月5日（土）18:30-20:30
- ・ 会場 「Gru」（<http://takasaki-bishop.jp/gru/>）高崎市連雀町106 大手前ビル1F  
Tel. 027-395-4342 Fax. 027-395-4329 Mail. [gru@takasaki-bishop.jp](mailto:gru@takasaki-bishop.jp)
- ・ 参加費 （会員・非会員とも）5,000円 学生3,000円
- ・ 申し込み方法・申込期限：本部事務局に大会申込と同時に申込。事前振込が必要です。
- ・ 会場は高崎駅方面乗合バス路線上の「連雀町」バス停付近にあります。第一日目シンポジウム終了後、大学正門付近から懇親会会場付近に向けて送迎バスをお出します（後述）。



## ■大会会場マップ



## ■大会会場までのアクセス・送迎バスについて



高崎駅から高崎経済大学へのアクセスには、以下のような手段があります（大学による案内 <http://www.tcue.ac.jp/about/access.html> もご覧ください）。公共交通機関はいずれも本数が少なく、ご利用には注意が必要です。

## 1. 乗合バスの利用

高崎駅西口の「2番バス乗り場」から「本郷経由 榛名湖行き・室田行き」または「沖経由 箕郷行き」に乗車、「経済大学前」で降車。所要時間 25 分程度。片道 300 円。

土曜・日曜			
高崎駅西口発 ②番乗り場		高崎経済大学発 高崎駅行き	
8:30	本郷経由 榛名湖行き	7:50	定期便
9:30	本郷経由 榛名湖行き	8:50	定期便
10:00	本郷経由 室田行き	9:19	定期便
10:30	本郷経由 榛名湖行き	9:30	定期便
11:30	本郷経由 榛名湖行き	10:15	定期便
12:00	沖経由 箕郷行き	11:00	定期便
12:30	本郷経由 榛名湖行き	11:30	定期便
13:00	本郷経由 室田行き	12:30	定期便
13:30	本郷経由 榛名湖行き	13:30	定期便
14:30	本郷経由 榛名湖行き	13:54	定期便
15:15	沖経由 箕郷行き	14:30	定期便
15:30	本郷経由 榛名湖行き	14:42	定期便
16:25	本郷経由 室田行き	15:30	定期便
17:35	本郷経由 室田行き	16:04	定期便
18:15	本郷経由 室田行き	16:30	定期便
18:45	本郷経由 室田行き	17:42	定期便
19:35	本郷経由 室田行き	18:12	定期便
		19:00	定期便

## 2. コミュニティ・バス「ぐるりん」の利用

高崎駅西口の「4番バス乗り場」から「高経大線 系統番号 3番 経大・金井淵コース【下り】→六郷・真木病院コース【上り】」に乗車、「高経大前」で降車。所要時間 30 分程度。片道 200 円。 <https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2014022800027/files/t34takakeidai.pdf>

### 3. タクシーの利用

高崎駅西口から 2,000 円以内。所要時間 15 分程度。

### 4. 信越本線の利用

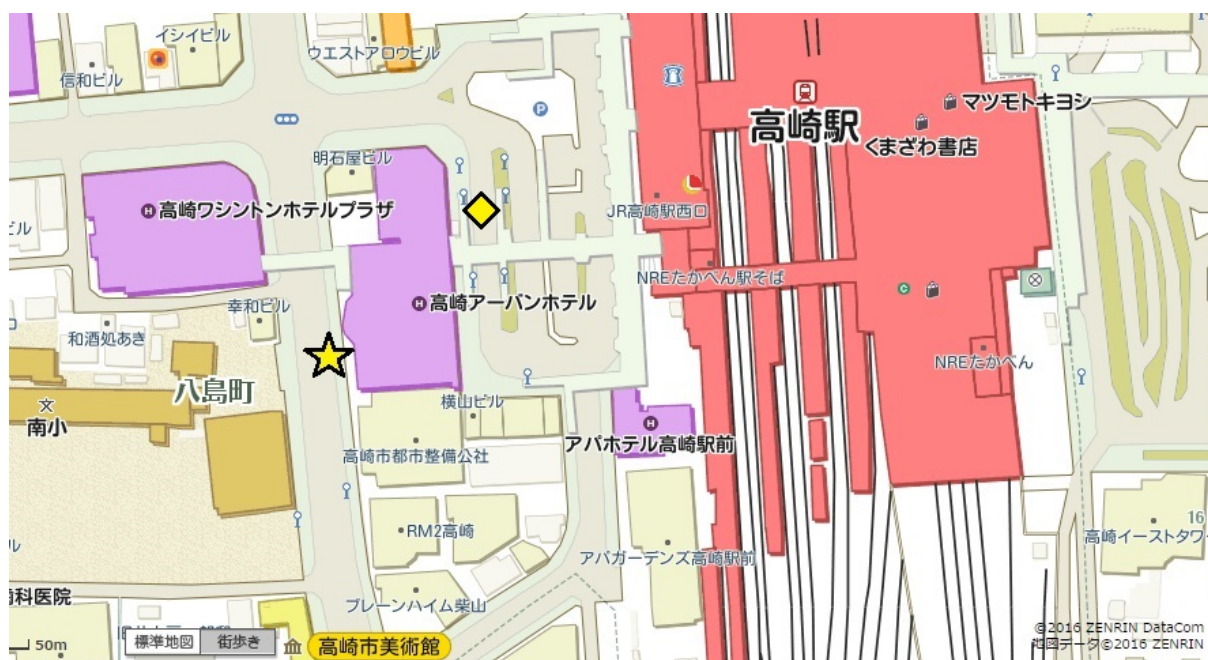
高崎駅から信越本線「横川行き」に乗車、一駅先の「北高崎駅」で降車。駅前の踏切を渡り、すぐに左折して道なりに徒歩約 35 分。

## ○ 送迎バスのご利用

3月6日(日)の午前8時10分と8時50分には、「高崎アーバンホテル」のエントランス前から大会会場(高崎経済大学)行きの送迎バスをお出しします。8時30分発の乗合バスとあわせてご利用ください。なお大会一日目(3月5日)の高崎駅からの送迎はございません。

下の地図の「☆」印の位置から、高崎経済大学行き送迎バスが発車します。

「◇」印の位置は、大学方面行き乗合バスの乗り場(2番)です。



## ○ 大学からのお帰りについて

大会初日(3月5日)は18時に懇親会会場付近に向けて、二日目(3月6日)は17時35分に高崎駅に向けて、大学正門付近から送迎バスをお出しします。17時42分・18時12分に大学前バス停から発車予定の乗合バスとあわせてご利用ください。

また、大学正門を出て右手すぐにタクシー会社(榛名観光タクシー 0120-43-0129)もございます。お急ぎの方はそちらをご利用ください。

## ■エクスカーシヨンの実施について

学会大会開催に先立ち、3月4日（金）にエクスカーシヨンを実施いたします。今回は前橋市の「アーツ前橋」（<http://artsmaebashi.jp/>）様に御協力いただき、館内、および施設周辺の様をご案内いたします。

アーツ前橋は、JR 前橋駅北口から徒歩 10 分の場所にあります。高崎駅から前橋駅までは、約 20 分です。アーツ前橋が立地する前橋市の中心市街地は、地域社会の構造変化に伴い深刻な衰退に見舞われています。しかし同時に、アーツ前橋のオープン、およびさまざまな市民活動の展開により、近年、同エリアにはそれまでになかったかたちでの文化資源の蓄積が認められるようになりました。このたびのエクスカーシヨンでは、外部からではわかりにくいそうした状況の変化、およびアーツ前橋の地域社会に向けての取り組みをご紹介します。

### 参加方法

- ・エクスカーシヨンへの参加は、事前申し込みが必要です。大会参加手続き時のフォームからお申し込みください。
- ・参加者は3月4日（金）16時に、アーツ前橋入口に現地集合してください。



[http://www.artsmaebashi.jp/?page\\_id=29](http://www.artsmaebashi.jp/?page_id=29)